大阪・関西万博に出展

＜2＞

“世の中にHAPPY＆WOWを届けるプロダクト”（最適自動温度調節服）

過酷な環境で働く人を助ける

東阪電子機器、地球観測などS社がグループを形成し万博で展示するのは、過酷な労働環境で働く製造業の方々を助けるための「自動温度調節が可能な次世代の洋服」。この洋服は、バイタルや脳波情報をモニタリング分析し、人がより心地よく身体に最適な温度にコントロールすることで、作業環境の改善を目指している。夏の暑さや冷凍倉庫内の極寒といった過酷な環境下での労働者の健康と生産性を守るための革新的なアプローチである。

プロジェクト責任者の東阪電子機器の永野仁士社長は、2023年に行われた「グロービス経営大学院」のあすか会議をきっかけに、大阪・関西万博への出展を決意。万博への挑戦は、社員全員の士気を高め、会社全体の成長につながると考えている。初めての挑戦に対しては不安もあったが、「身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決する」というテーマに共感し、エントリーを決めたという。

「最適自動温度調節服」のコンセプトを紹介する東阪電子機器の永野仁士社長

永野社長の構想に結集した企業はそれぞれの役割を担う。東阪電子機器はプロジェクトの幹事企業として、アイデア提供と洋服の形状設計や電子機器の開発やその配置を担当。NSWは洋服のデザインと製作を担当。マスコールは特殊環境下での試作品の評価を行うラボで、製品評価を担当。MP－Strategyは VRなどを活用した展示方法の設計を担当。あっとはバイタル情報の取得と体温調節の実証実験を担当。HAKATTEは脳波情報の取得を担当。大阪ヒートクールはバイタル情報と脳波情報の分析を担当し、最適な温度調節を行う。地球観測は全体の展示コンセプトの設計を担当し、展示データの利活用を統括。

このプロジェクトを通じて、グループでは単なる技術力の向上だけでなく、社会課題の解決にも積極的に貢献していく姿勢を示している。万博という国際的な舞台で、未来に向けた新しい挑戦を行うことで、企業としてのさらなる成長を目指す。

東阪電子機器（代表企業）▽NSW▽マスコール▽あっと▽MP－Strategy▽地球観測▽HAKATTE▽大阪ヒートクール

【問合せ】中小企業振興部☎6944・6461

▼万博出展の詳細はこちら